

県北振興に向けた誘客促進と地域経済への効果等について

**質問** アウトドアを通じての誘客促進を図りながら、どのように地域経済への波及やにぎわいづくりに取り組むのか。

**答弁** 各種メディアを通じてロングトレイルやサイクリングルート周辺の飲食店、宿泊施設等の情報を繰り返し発信している。さらに今後は、「食べる」「体験する」「泊まる」をパッケージ化した多彩なモデルプランを広く提案する。加えて、サイクリングとトレイルランを組み合わせたサバイバルレースの開催を計画している。土産物などの消費喚起を図るとともに、参加者の宿泊や長期滞在にもつながるよう、事前の周知に工夫を図っていく。

認知症の人を支える家族への支援

**質問** 認知症の人を支えるご家族に対し、どのような支援を行っているか伺いたい。

**答弁** 全ての市町村に「地域包括支援センター」を設置し、認知症を含む高齢者の様々な相談に対して助言を行うとともに、その家族の負担軽減を目的とした介護保険サービスの利用など、必要な支援を行っている。他にも日常生活で利用頻度の高いスーパーなど約2,500の事業所を「認知症の人にやさしい事業所」として認定をさせていただいた。また、関係機関をつなぐ民生委員さんの活動を支援することで、プッシュ型で支援が届くような活動を行っている。

ベンチャー企業の創出・育成と地元企業との連携について

**質問** 地元企業等とのマッチングを通じたベンチャー企業の創出育成と地域産業の活性化について伺いたい。

**答弁** 令和4年度より、優れた技術力を有するものづくり企業と独創的なアイデアを持つベンチャー企業とのマッチングに取り組んでおり、これまでに32件の試作品製造や製品開発などの成果につなげている。さらに、ベンチャー企業の製品・サービスの普及拡大をめざし、交流会を開催した。県内大手企業とベンチャー企業とのネットワークが構築され、参加した企業からサービスを導入する事例も始めている。

不登校児童生徒に対する支援

**質問** 不登校児童生徒に対し、どのような支援を行い、どのような成果が出ているのか。

**答弁** 欠席が5日を超えた段階で専門家や専門機関への相談につなぎ、助言を行うなど、きめ細やかな支援に努めている。また、全国に先駆けて、民間フリースクールへの運営費の補助や困窮世帯に対する授業料等の補助を行っている。2022年度から、校内フリースクールの設置を開始し、学校内外に個別最適な学びの場を提供している。通所していた児童生徒が登校を再開したケースや、校内フリースクールの利用で継続的に登校できるようになったケースがある。



令和7年度 当初予算案における主な事業 (抜粋)

不妊治療費助成事業 **新規**

保険適用外となる費用の一部を助成

不妊治療のうち、保険適用外となる先進医療に対する費用の一部を助成することで、不妊治療に取り組む方の経済的負担軽減を図ります

- 1 実施主体：市町村
- 2 助成額：1件あたり上限4万円（県1/2、市町村1/2）
- 3 助成内容  
保険適用された治療と併用して自費で実施する「先進医療（※）」に係る費用の一部を助成  
※先進医療…妊娠に対する安全性や有効性において一定の評価を得ており、将来的な保険導入が検討されている先進治療（R6.10.1時点で厚生労働省が告示している先進医療は13技術）

| 保険適用                |                        | 保険適用外 |
|---------------------|------------------------|-------|
| 一般不妊治療<br>(タイミング法等) | 生殖補助医療<br>(体外受精・顕微授精等) | 先進医療  |

県北誘客促進関連事業

多様な地域資源の活用で国内外からの誘客促進

県北地域の多様な地域資源の活用や周遊イベントの実施により、国内外からの誘客促進に取り組みます

○アウトドアスポーツイベント事業 **新規**



「サイクリングルート」と「トレイルコース」を使った国内唯一無二のサバイバルレース「BIKE&TRAILRUN OKUKUJI (仮称)」の開催

- 県北ニューツーリズム推進事業  
(1) 常陸国ロングトレイルを核にした国内外からの誘客促進  
(2) ロングトレイルコースの整備・活用等
- デジタル里山アドベンチャー事業  
アニメ等コンテンツとコラボした周遊の仕組みを構築し、ファミリー層・若年層の誘客と消費額の増加を促進

高安ひろあき **茨城県議会報告**

第25号  
2025年4月発行

Takayasu  
Report for  
You

**TRY**

発行元/連絡先

高安ひろあき事務所  
〒317-0073 日立市幸町2-13-6  
TEL 0294-26-0183 FAX 0294-26-0186  
E-Mail hiro-t@net1.jway.ne.jp

第1回 定例会を 開催 **企業の持続的な賃上げの実現に向けた 施策等を強力に推進**

— 「経済の好循環に向けた緊急対策」を盛り込んだ予算編成へ —

予算委員会での質疑する高安議員



令和7年度第1回定例会は、2月26日から3月24日まで27日間の日程で開催されました。上程された議案等は知事提出議案として令和7年度一般会計予算、特別会計予算や条例の他、令和6年度一般会計補正予算など83件であり、その他議員提出議案として「茨城県歯と口腔の健康づくり8020・6424推進条例」の一部を改正する条例など5件の計88件が上程されました。それぞれ委員会等での慎重審議の結果、全ての議案が可決・承認となりました。議員提出議案の「茨城県歯と口腔の健康づくり8020・6424推進条例」の一部を改正する条例については、保健福祉医療委員会と文教警察委員会による連合審査会を開催し、多角的な視点からの活発な意見交換がおこなわれました。

一般会計の 予算規模

今回の一般会計予算案の規模は、1兆2,636億9,400万円となりました。給与改定に伴い職員給与等が増となる一方、定年延長に伴う退職手当の減により、人件費は横這いとなりましたが、金利上昇に伴う公債費の増や高齢化の進展等に伴う社会保障関係費の増により、歳出規模は前年度と比べ、+1.0%となりました。  
新型コロナウイルス感染症関連分を除いた歳出規模は過去最大となっています。

一般会計予算額



1兆2,636億9,400万円 (対前年度当初比+1.0%)

人口減少時代の「新しい茨城」づくり

経済の好循環に向けた緊急対策 (一部R6最終補正対応)

「新しい茨城」づくりへの挑戦 4つのチャレンジ

- ・賃上げ支援
- ・処遇改善
- ・物価高対策

- I 「新しい豊かさ」へのチャレンジ
- II 「新しい安心安全」へのチャレンジ
- III 「新しい人財育成」へのチャレンジ
- IV 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

いばらき賃上げ支援事業 **新規**

賃上げを実施する中小企業を支援

物価上昇を上回る賃上げを促進するため、大幅な賃上げを実施する中小企業等を支援します

- 支給対象者  
県内に事業所を有し、1時間当たりの賃金を1,010円(最低賃金プラス5円)以下の額から35円以上引き上げた中小企業・小規模事業者等\*
- ※労働者全員の1時間当たりの賃金が1,040円以上となること
- 支給額  
正規雇用労働者1人あたり5万円  
非正規雇用労働者1人あたり3万円
- 支給上限額  
1事業所あたり最大50万円

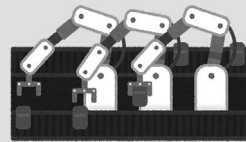


いばらき業務改善奨励金事業

設備投資支援で持続的賃上げ促進

物価高の影響を受ける中小企業等の設備投資等を支援することで、生産性向上を図り、持続的な賃上げを促進します

- 補助対象者  
事業場内最低賃金を30円以上引き上げ、1,040円以上(\*1)とし、生産性向上のための設備投資等を行う中小企業・小規模事業者等(\*2)
- ※1:最低賃金が1,005円の場合  
※2:R6.1月以降に国の業務改善助成金の交付決定を受けていること
- 助成率  
業務改善助成金(国)の自己負担分の1/2
- 助成上限額  
最大100万円
- 助成対象  
生産性向上のための設備投資等



フッ化物洗口推進関連事業

教員業務支援員配置等への補助

フッ化物洗口について、教員業務支援員配置に係る経費や薬剤購入費等を補助することで、小学校段階における継続的な実施を推進します

- 小学校口腔衛生推進事業  
【補助対象】1~3年生の3学年でフッ化物洗口に取り組む市町村立小学校  
【事業内容】教員業務支援員の配置に係る経費の補助(1校あたり1名)
- フッ化物洗口推進事業  
就学前施設への導入補助  
【補助対象】4、5歳児へのフッ化物洗口に取り組む就学前施設  
【事業内容】フッ化物洗口に係る導入経費(薬剤購入費、歯科専門職謝金等)の補助



産業技術専門学院機能強化事業 **新規**

ものづくり人材育成の機能を強化

産業技術専門学院を再編整備し、デジタル時代に対応した技能者の育成、企業人材のリスクリング支援など、ものづくり人材の育成拠点としての機能を強化します

- 【機能強化の方針】
- 主な機能強化策
  - ・転職者や女性を含め、幅広い層のキャリア形成を支援
  - ・在職者向け、リスクリング機能を強化
  - ・先端スキルの習得に対応する設備の導入
  - ・産業界との連携により、地域企業への就職を促進
- 運営体制の見直し
  - ・5学院から2学院(水戸・土浦)に再編
  - ・製造系訓練科を水戸に集約
- 【事業内容】
- 再編に向けた施設整備の実施
  - ・水戸学院実習棟新設に関する設計等(基本・実施設計、地質調査、支障物件解体)

企業誘致活動強化事業

誘致を進めるため補助メニュー拡充

将来にわたって発展できる地域づくりに向け、フラッグシップ(主力)拠点の誘致を進めるため、補助メニューを拡充します



イメージ図

茨城県企業立地促進補助金

- (1) グローバル企業のフラッグシップ(主力) 拠点誘致促進補助【拡充】【上限100億円】
  - 成長産業(半導体・次世代自動車関連産業等)のグローバル企業のフラッグシップ(主力)拠点の整備に対する補助
- (2) 次世代産業集積・カーボンニュートラル強化プロジェクト事業補助【上限30億円】
  - 成長産業の生産拠点の整備に対する補助
- (3) 本社機能移転強化促進補助【上限50億円】
  - 成長産業の本社機能の県外からの移転に対する補助

新最終処分場整備関連事業

供用開始に向け各種工事を着実に推進

令和8(2026)年度末の新最終処分場の供用開始に向け、埋立地の造成を進めるとともに、北側区画の遮水工及び浸出水処理施設工事など各種工事を着実に推進します

- 新最終処分場整備推進事業(4,260百万円)
  - ・国交付金と同額を(一財)茨城県環境保全事業団へ出捐
  - ・安定的な運営を図るため、同事業団へ長期貸付を実施
  - 【貸付条件】償還期間23年、有利子
- 新最終処分場周辺道路整備事業(公共)(4,942百万円)
  - ・南側新設道路の整備(トンネル、橋梁、道路改良)
  - ・県道整備等(県道日立常陸太田線片側歩道整備、油縄子交差点改良)



新最終処分場完成イメージ図



Half Time ハーフタイム このコーナーでは、茨城県の取組みについて解説します。

日立市と日立製作所の協働による「日立共創プロジェクト」を促進し、県北地域の振興や地域課題の解決につなげていきます!

日立市は、日立製作所との協働によるスマートシティの実現に向けた「日立共創プロジェクト」を推進しています。

このプロジェクトは、「グリーン産業都市の構築」、「デジタル健康・医療・介護の推進」、「公共交通のスマート化」の3つのテーマで取り組んでいますが、今年度、県は、医療・介護分野のデジタル化を図るモデル的取り組みへの支援を行います。具体的には、子育て世帯等を対象に、夜間オンライン診療等の導入に関わる事業や、ICTツールによりきめ細かな医療・介護サービスの提供を図るモデル事業などへの支援が行われます。



医療・介護給付費の増大による財政の圧迫、医療・介護現場の人材不足など、課題は様々ですが、県北地域からモデル的取り組みを発信し、「住めば健康になるまち」をめざしていきます。

前例にとられない新たな発想で県北地域だけでなく、日本全体の課題を解決し、明るい未来へ進めるよう取り組んでいきます!

